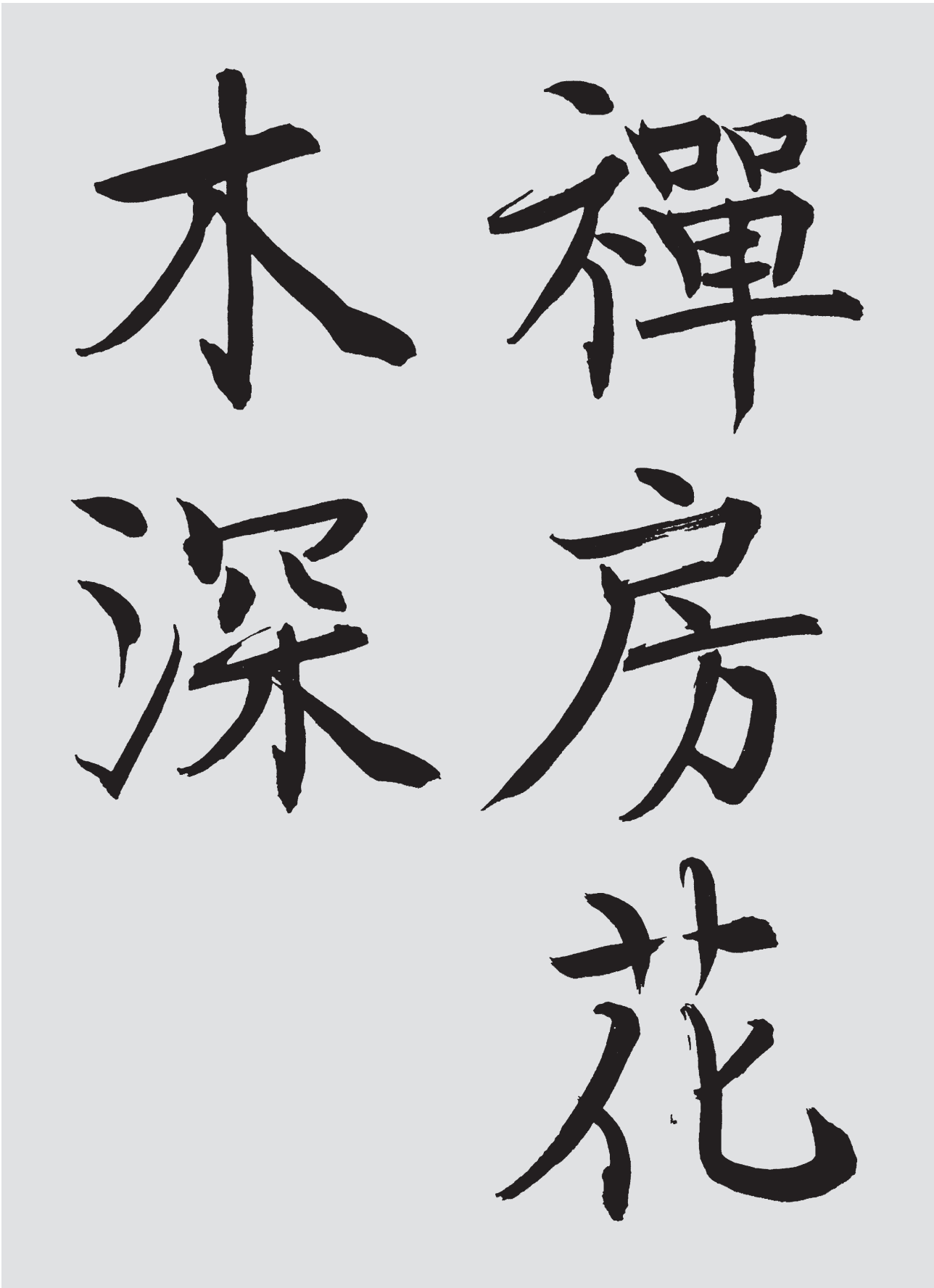


参 考 手 本

禅房花木深し



※これは規定課題ではありません。

成 瀬 映 山 先 生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

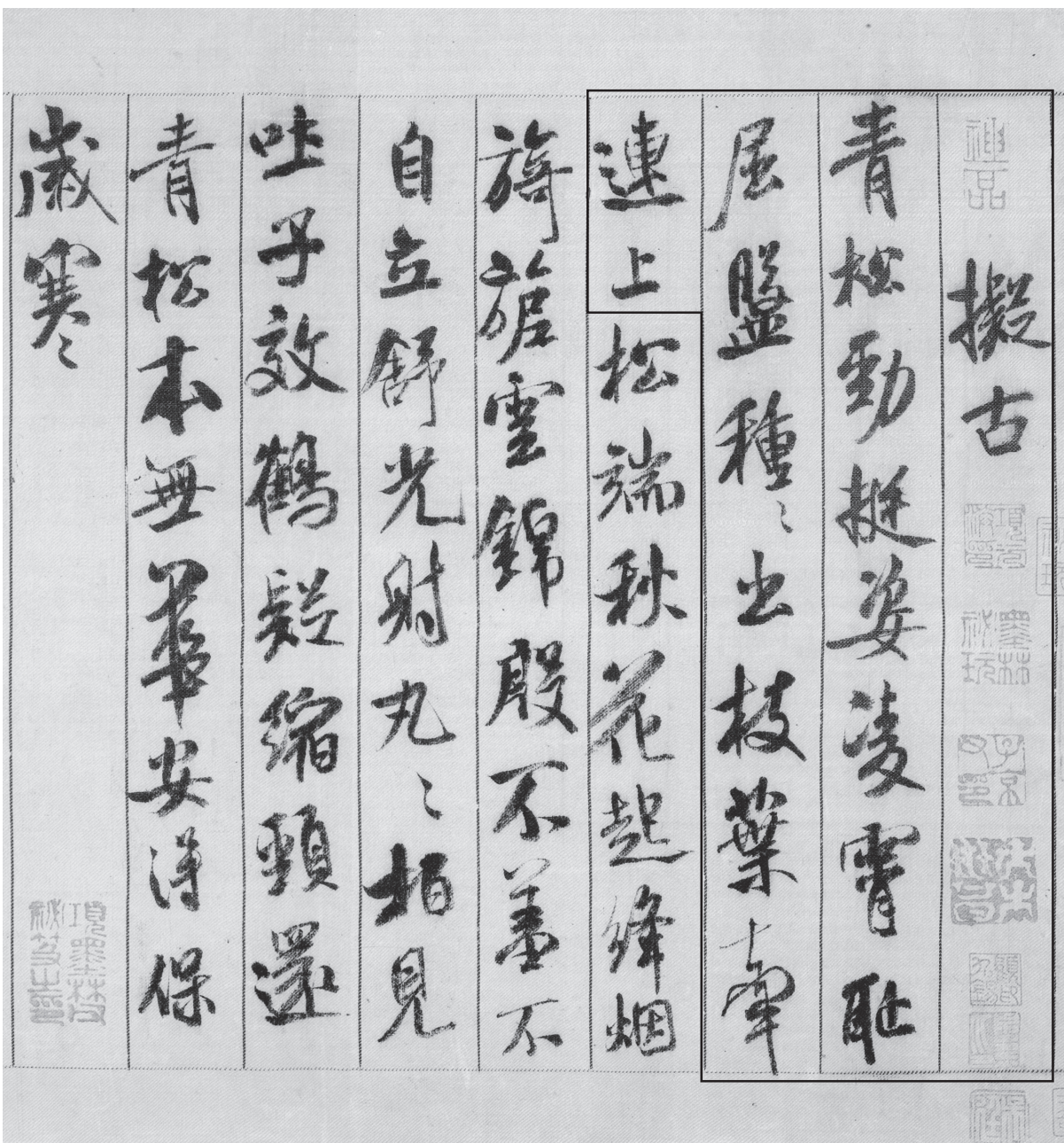


千林晚風戦せんりんばんふうせん

高木聖雨先生

条幅規定

A部 (準五段以上)



擬古
 青松勁挺姿凌霄耻
 屈盤種出枝葉牽
 連上松端秋花起絳烟
 旖旎雲錦殷不墨不
 自立舒光射丸柏見
 吐子效鶴疑縮頸還
 青松本無華安得保
 歲寒

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・級を記入してください

「この課題を同月の条幅随意には出品出来ません」

『蜀素帖』 米芾 (宋)

擬古

青松勁挺姿 凌霄恥屈盤
 種種出枝葉 牽連上松端
 秋花起絳烟 旖旎雲錦殷
 不差不自立 舒光射丸丸
 柏見吐子效 鶴疑縮頸還
 青松本無華 安得保歲寒

擬古

青松勁挺の姿
 凌霄 屈盤を恥づ

種々に枝葉を出だし
 牽連して松端に上る
 秋花絳烟より起こり
 旖旎として雲錦殷なり
 羞せず自立せざるを
 光を舒べて射て丸々たり
 柏は吐子の效を見
 鶴は疑いて頸を縮めて還る
 青松本と華無し
 安んぞ歳寒を保つを得んや

【今月の課題】

「擬古青松勁挺姿凌霄恥
 屈盤種種出枝葉牽連上」

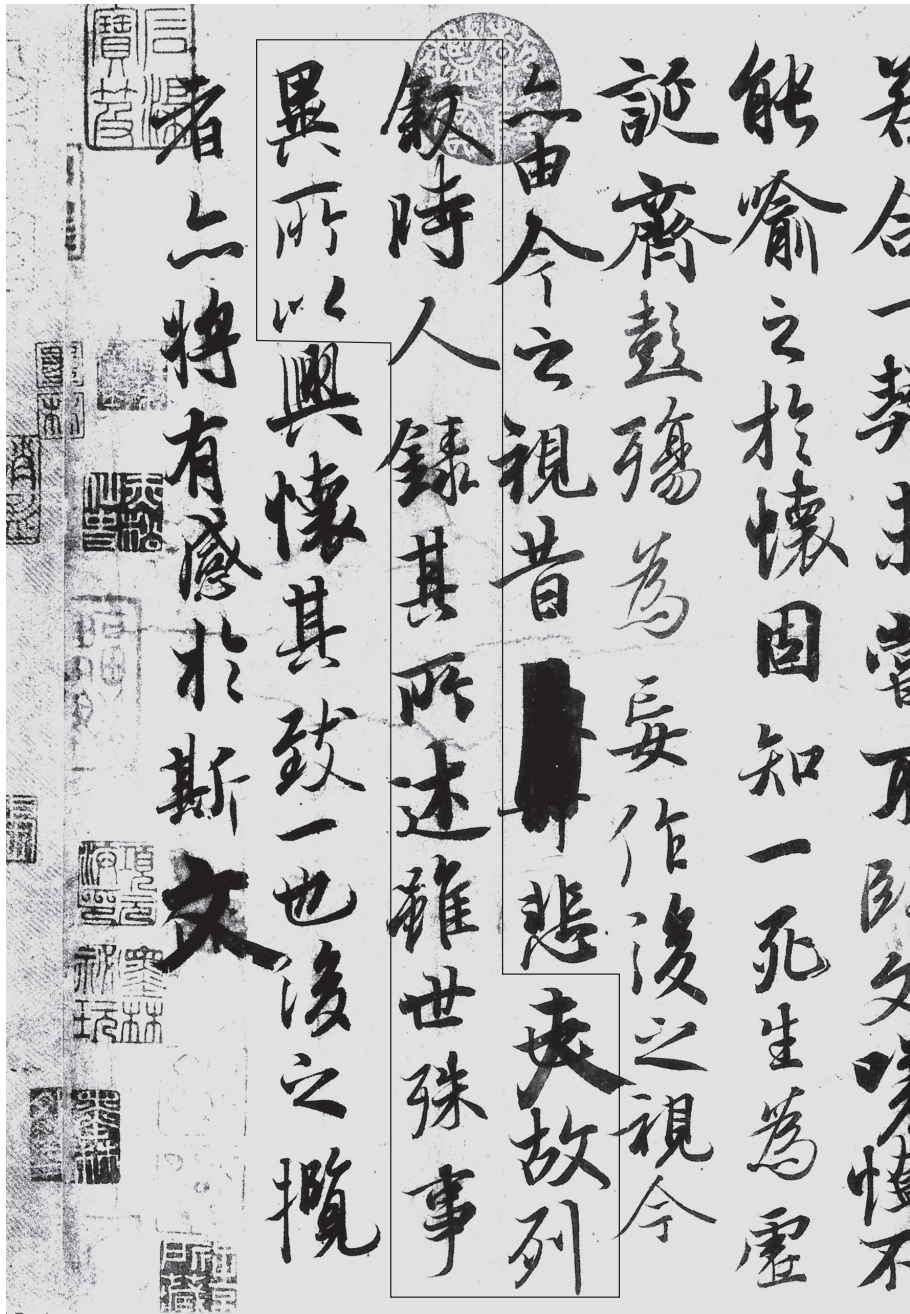
(20字)

(6月10日締切)

条幅規定

B部 (四段以下)

『蘭亭叙』 王羲之 (東晋)



夫叙時錄異

能喻之於懷。固知一死生爲虛誕。齊彭殤爲妄作。後之視今。亦由今之視昔。悲夫。故列叙時人。錄其所述。雖世殊事異。所以興懷。其致一也。後之攬者。亦將有感於斯文。

これ之を懷に喻す能はず。固より死生を一にするは虚誕たり、彭殤を齊しくするは妄作たるを知る。後の今を視るも、亦た由お今の昔を視るがごとし。悲しいかな。故に時人を列叙し、其の述ぶる所を録し、世殊なり事異なると雖も、懷を興す所以は、其の致は一なり。後の攬る者、亦た將に斯の文に感ずる有らんとす。

【今月の課題】

「夫故列叙時人錄其所述雖世殊事異所以」

(17字)

「この課題を同月の条幅随意には出品出来ません」

条幅のバーコード出品券にはA・Bでは無く段・級を記入してください

(6月10日締切)

半紙規定 (二)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



城長史夏陽

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



有雖休勿休

金城長史夏陽令

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書

〔二級以下〕楷書

有せず。休と雖も休なること勿く、

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕
(6月10日締切)

条幅参考手本

洛陽訪才子 江嶺作流人
 聞說梅花早 何如此地春

翠園

石田翠園先生

洛陽訪才子 江嶺作流人 聞說梅花早 何如此地春
 洛陽に才子を訪えば 江嶺に流人と作れり 聞くならく梅花早しと 此の地の春と如何ぞ

渡辺久美先生

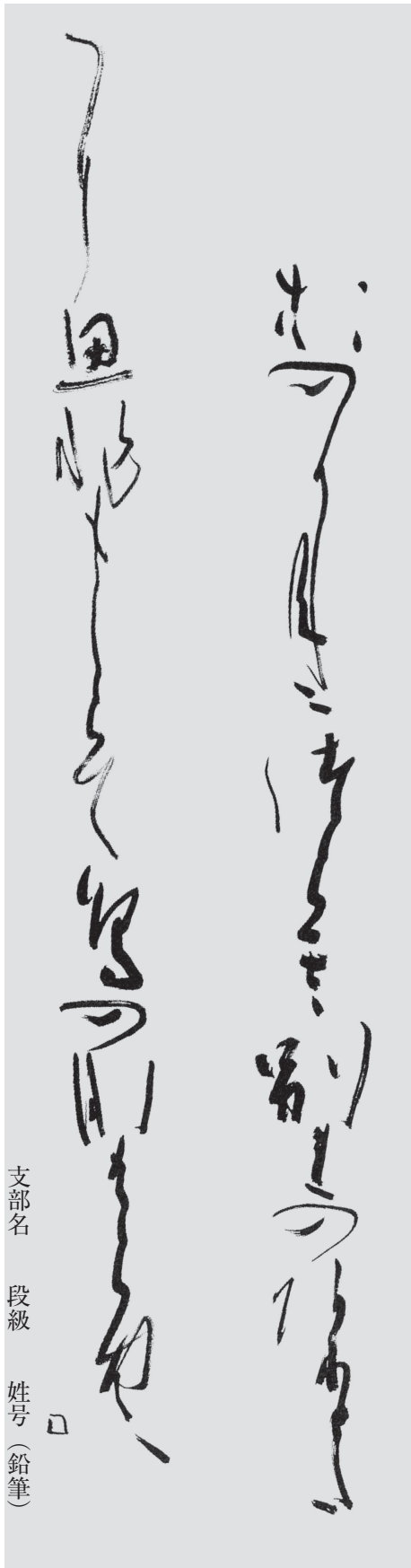
南浦随花去 廻舟路已迷
 暗香無覓處 日落畫橋西

南浦随花去 廻舟路已迷 暗香無覓處 日落畫橋西
 南浦花に随いて去り 舟を廻らせば路已に迷う 暗香覓むる處無く 日は落つ畫橋の西

条幅かな

条幅参考手本

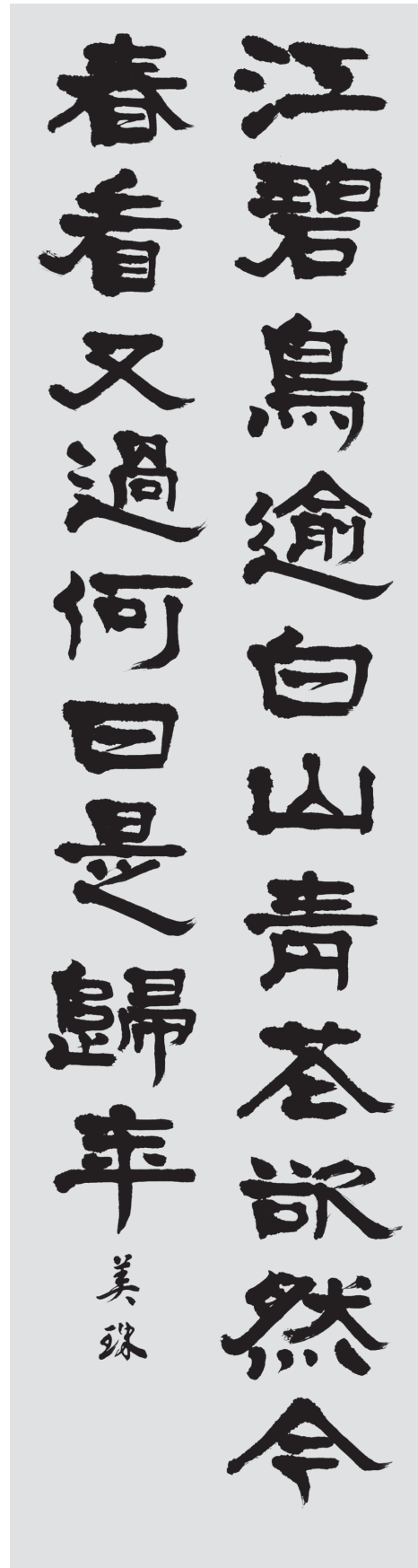
おのが音につらき別れのありとだに思ひもしらで鳥の鳴くらむ (藻壁門院少将) ※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。



支部名 段級 姓号 (鉛筆)

浮 乗 清 郷 先生

江碧鳥逾白 山青花欲然 今春看又過 何日是歸年
江碧にして鳥逾白く 山青くして花燃えんと欲す 今春看す又過ぐ 何れの日か是れ歸年



渡 辺 美 珠 先生

(6月10日締切)

半紙かな（1級以下）

ゆふがほや竹焼く寺のうすけぶり
夕顔 竹焼く寺のうすけぶり
 須道里

竹焼く寺のうすけぶり
 須道里

支部名 級 姓 号 (鉛筆)

※ちらし文字変換は自由

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（初段以上）

山吹もおなじかざしの花なれどもるの桜なほぞ恋しき
やまぶき 山吹もおなじかざしの花なれどもるの桜なほぞ恋しき
 可志連雲居斜九那寶慈悲

山吹もおなじかざしの花なれどもるの桜なほぞ恋しき
 可志連雲居斜九那寶慈悲

支部名 段 姓 号 (鉛筆)

※ちらし文字変換は自由

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

(6月10日締切)

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

同じ視覚芸術である絵画では
一度描いたものは何遍でも修正
して描きなおすことができますが
書の場合は不可能です

支部名 段級 姓 号

大井岳陵先生

(6月10日締切)

細 字

支 部
段 級
姓
号

(名前は必ず楷書で書くこと)

墓 参 供 養 螢 宵 花 馨
 墓 参 供 養 螢 宵 花 馨
 墓 参 供 養 螢 宵 花 馨

※一級〜八級は草書まで。 初段以上は隷書まで。 ※名前は楷書以外では違反になります。 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

螢けい 宵しやう
 花か 馨けい
 ほたるが飛ぶ宵。
 花の香り。

硬筆（1級以下）

2行、楷書

散歩は、脂肪を主なエネルギー源として使う有酸素運動の一つです。

支部
級
姓
号

齊藤 翡翠流先生

硬筆（初段以上）

3行、行草書

…文字は美しい…姿勢を…流れも…。

美し〜い文字は美し〜い所作から生まれる。姿勢を正すことで筆の流れも整っていく。

支部名
姓
号

青柳 江雲先生

※本院定型用紙・たて半分に書く

（6月10日締切）

中2用

校名
草花
野山の
名前

渡邊南嶂先生

中3用

校名
成長の
記録
名前

大越三宗先生

小6用

校名
野広
原い
名前

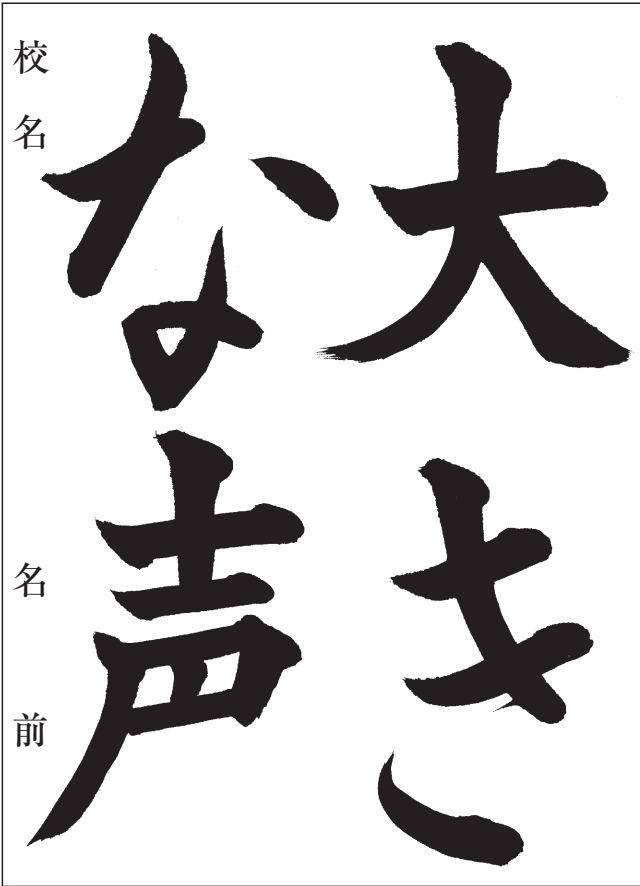
渡邊南嶂先生

中1用

校名
夏山に
登る
名前

渡邊南嶂先生

小4用



校名

名

前

大越三宗先生

小5用



校名

名

前

大越三宗先生

小2用



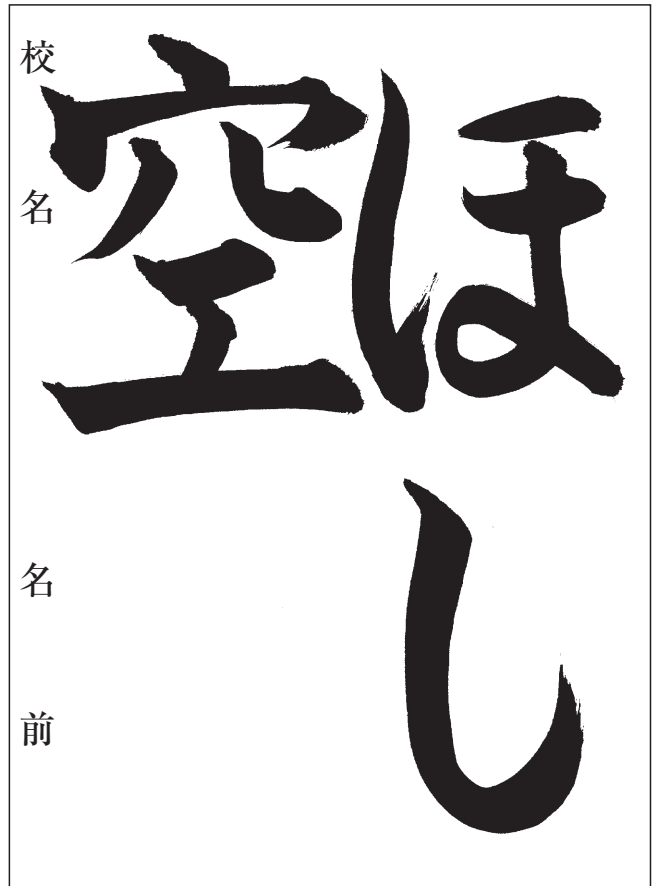
校名

名

前

鈴木翫恵先生

小3用



校名

名

前

鈴木翫恵先生

中1

地球にとって宝です。紙の資源である森林は

中1~中3

中2

他人の批判より、自己反省に心を向けよう。

青柳江

中3

短歌と俳句は我が国独特に発展したものだ。

雲先生

小1・幼年用

校名

名前

はと

鈴木蕙先生

小1・幼年

かもめ、はくちょう、あひる、うぐいす。

小1~小3

小2

田んぼの水にお日さまがきらきらうつる。

鈴木蕙

小3

きれいな花や、うつくしい音楽がすきです。

翠先生

小4

庭の草花が、いつせいにさき始めました。

小4~小6

小5

広い野原を思うぞん分か、かけ回ってみたい。

田辺翠

小6

田園の風景がみずみずしい季節。初夏も近い。

鶴先生

学生書道コンクール課題（6月12日締切）